

## 令和5年度地域ケア会議及び在宅療養連携会議 第1回全体会議 会議録

開催日時 令和5年（2023年）7月4日（火）19時00分～20時00分

開催場所 ヴェルクよこすか 6階ホール

出席者 【構 成 員】別紙名簿のとおり

【オブザーバー】神奈川県言語聴覚士会 金井 枝美（敬称略）

【事 務 局】民生局福祉こども部 藤崎 啓造

地域福祉課 椿 雄一、栗原 崇、白石 貴宏

【傍 聴 者】なし

1 開 会 構成員任期替え後の初回会議のため、事務局が司会となり開会した。

2 挨拶 藤崎福祉こども部長及び椿地域福祉課長から挨拶を行った。

3 自己紹介

構成員、事務局の順で自己紹介を行った。

合計で36名の構成員で運営していくこととなった。

続いて、配布資料の確認を行った。

資料1 在宅療養連携会議設置要綱

資料2 地域ケア会議設置要綱

資料3 傍聴要領

資料4 令和5年度地域ケア会議及び在宅療養連携会議方針

資料4別紙1、別紙2 地域包括ケアシステム、8項目スライド

資料5-1 複合的な課題（困難事例）検討専門部会 活動報告

資料5-2 食・口腔ケア専門部会 活動報告

資料5-3 コロナフレイル対策専門部会 活動報告

資料5-4 入退院・在宅療養連携専門部会 活動報告

資料5-5 介護保険事業所の「看取り」に関するアンケート集計結果

資料6 専門部会割り振り案

4 全体会議 議題

（1）座長の互選について

構成員から秋澤氏を推薦する意見があり、全会一致で秋澤氏が座長に選出された。

（2）職務代理者の指名について

座長の指名により、佐々木氏が職務代理者に指名され、全会一致で佐々木氏が職務代理者に選出された。

（3）会議の公開について

事務局から資料3に基づき、在宅療養連携会議の傍聴に関する実施要領に規定されていない

い、傍聴の範囲及び会議録の公開方法について説明を行い、異議なく承認された。

〔説明要旨〕

傍聴の範囲について、全体会議は原則公開とするが、専門部会については、議論の最中に固有名詞が出てくることが多く、具体的な事例検討をする場合もあることから、非公開とする。

会議録は、全体会議の議事録は公開とする。議事録は、市役所本庁舎にある市政情報コーナーに常時設置し、閲覧できる。また横須賀市ホームページにも掲載する。議事録には発言者の氏名を記載することを過去にこの会議で決めており、今年度もこれを踏襲する。なお、議事録は、構成員が内容を確認した上で公開となる。

(4) 令和5年度地域ケア会議及び在宅療養連携会議の方針について

事務局から、資料4に基づき、会議の目標、運営方法等について説明を行った。

方針案のうち、「コロナフレイル対策専門部会」について、コロナによるフレイルに限らず、フレイル全般の対策を検討する専門部会として、名称を「フレイル対策専門部会」と変更してはどうかと意見があり、全会一致で承認された。

〔説明要旨〕

1 目的、2 目標は、ともに前年を踏襲する。この2つは、具体的な表現ではなく、大きな方向性として記載している。

3 の開催方針について、高齢者地域ケア会議と在宅療養連携会議、別々に開催されてきた2つの会議を一体的に開催することになった経緯を説明した。両会議の目的や内容が重複してきたこと、両会議の委員が、ほぼ同一の専門職団体から推薦されているといった点から、令和3年度から一体的に実施することとした。

4 は、会議の運営方法を記載している。(4) は、基本的には対面形式で実施することを記載している。これは、この会議が、医療関係者、介護関係者といった、多職種の連携を深めることを大きな目標としているためである。(5) では、専門部会の再編が可能である旨記載している。

5 は、会議の内容を記載している。全体会議は年2～3回、専門部会は、それぞれの検討状況に応じて開催する。専門部会は、4つ設定している。これらは、令和3年度に各団体に行ったヒアリングをもとに設定したものである。令和3年度と令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、思うように専門部会の活動ができなかった。そのため、まずはこの4つの専門部会での活動を継続したい。

〔意見・質問等〕

藤 倉：「コロナフレイル対策専門部会」について、コロナによるフレイルに限らず、フレイル全般の対策を検討する専門部会として、名称を「フレイル対策専門部会」と変更してはどうか。

座 長：いまのご意見について、反対意見がなければ決定としたいがいかがか。

(構成員から意見なし)

座 長：それでは、提案いただいたとおり、方針案の「コロナフレイル対策専門部会」は、

「フレイル対策専門部会」に名称を改めることに決定する。

(5) 令和3年度、令和4年度の活動報告について

事務局から、それぞれの専門部会の活動報告については、資料5-1から資料5-5を確認するよう説明を行った。

(6) 専門部会の割り振りについて

事務局から資料6に基づき、専門部会の割り振り案の説明を行った。

事前に割り振りの意向が確認できなかった団体について、口頭で確認を行った。

- ・ 三次救急対応病院  
岩澤氏…④入退院・在宅療養連携専門部会
- ・ 横三地区訪問看護ステーション協議会横須賀ブロック  
永島氏…①複合的な課題（困難事例）検討専門部会  
篠原氏…②食・口腔ケア専門部会  
大島氏…④入退院・在宅療養連携専門部会
- ・ 横須賀市グループホーム協議会  
田島氏…②食・口腔ケア専門部会、④入退院・在宅療養連携専門部会（兼任）
- ・ 横須賀地区栄養士連絡協議会  
樋口氏…①複合的な課題（困難事例）検討専門部会  
角屋氏…②食・口腔ケア専門部会  
野間氏…③フレイル対策専門部会  
村上氏…④入退院・在宅療養連携専門部会

上記の割り振りを確認のうえ、資料6の割り振り案が承認された。

(7) 第2回全体会議の日程について

2月下旬から3月上旬頃に開催する。事務局から改めて日程調整を行う。

〔説明要旨〕

第2回全体会議では、各専門部会からの活動報告や、情報共有が主となる。具体的な日付については、それぞれの専門部会の実施状況をみながら、事務局から改めて日程調整を行う。なお、簡単な報告のみで終わる場合は、Zoom開催やメールによる書類送付のみで実施する可能性もある。

(8) その他

事務局から事務連絡を行った。構成員からの周知事項は特になかった。

5 閉 会 座長の宣言で全体会議を閉会した。

この後専門部会に分かれて会議を行った。

以上